

高校生演劇「転校生」 ワークショップ・オーディション



演出：橋口幸絵、櫻井ヒロ

「だからね、HOWはわかるんだけど、
WHYはわからないの。」

今年2月に公開された映画「幕が上がる」の原作者、平田オリザ氏の
初期戯曲「転校生」を題材に演劇ワークショップを行います。

「演劇批評の対象になる高校演劇を」という目標のもと書かれたこの戯曲は、1994年11月、公募により選ばれた21人の女子高校生によって東京青山円形劇場で初演されました。その後、数々の演出家により全国で上演され、今回札幌市教育文化会館では橋口幸絵と櫻井ヒロの共同演出により、ワークショップを通して選出されたキャストと共に新たな舞台を創り上げます。

ワークショップ・オーディション

平成27年 8月1日(土)・2日(日)・6日(木)・9日(日)

14:00～18:00(4日間)

会場：札幌市教育文化会館 研修室401

※最終日オーディション実施予定

対 象	(原則として) 札幌市内・近郊在住の女子高校生、演技・ダンスに興味がある方	講 師	橋口幸絵(劇団千年王国) 櫻井ヒロ(ダンサー、振付家)
募集人数	20名程度	募集期間	平成27年6月12日(金)～7月31日(金)〈必着〉 裏面の応募用紙に必要事項をご記入のうえご郵送 いただくか、またはお電話でお申込み下さい。
受講料	1,000円(4日分) ※1日のみ参加の方も同額 (詳しくは、お問い合わせ下さい。)		

※8月下旬にオーディション結果をご連絡します。(教文HPでも発表します。)

稽古期間

平成27年 12月26日(土)～平成28年 3月10日(木)

毎週土曜・日曜 13:00～ ※詳しくは裏面の日程表をご参照ください。

会場：札幌市教育文化会館 リハーサル室 ほか

参加費：5,000円(予定)



教文大使
コネ・クートくん
designed by ロケットデザイン

発表公演

高校生演劇『転校生』

作：平田オリザ

演出：橋口幸絵、櫻井ヒロ

公演日：平成28年 3月11日(金)

会場：札幌市教育文化会館小ホール

入場料：全席自由 2,000円(予定)

お問合せ
お申込み

札幌市教育文化会館 事業課
〒060-0001 札幌市中央区北1条西13丁目

TEL 011-271-5822
ホームページ <http://www.kyobun.org/>

主催：札幌市教育文化会館(札幌市芸術文化財団) 後援：札幌市、札幌市教育委員会、高文連石狩支部演劇専門部

高校生演劇「転校生」ワークショップ・オーディション 応募用紙

ふりがな 本人 氏名	ふりがな 保護者 氏名	学校名 学年 年齢 満	高校 年 歳
〒 住所			
お持ちの全てのご連絡先の記入をお願いいたします。			
電話 番号	携帯 番号	オーディション風景の写真、映像を 演劇「転校生」プロモーションで 使用することに同意します <input type="checkbox"/>	
Eメール アドレス			

きりとり線

【講師プロフィール】

橋口 幸絵

劇団千年王國旗揚げからほぼ全作品の脚本・演出を担当。日本演出家協会会員。札幌大谷大学非常勤講師。近年は市民ミュージカルや子どもオペレッタの演出、NHK・BSプレミアムドラマの脚本など幅広く活動中。



平成24年より札幌座のディレクターとして活動を開始し、数々の演出を手掛ける。また自ら役者として出演している。

櫻井 ヒロ

フランス在住時(平成18年~20年)からフィジカル瞑想という名前のワークショップを始める。子どもから高齢者まで参加できる札幌市教育文化会館での「教文コミュニティダンス部」では、ファシリテーターとして参加者一人ひとりの身体の持つ独自性に目を向けたプログラムを行う。



平成25年には部員達と共に作った作品「13番目の月」を札幌コンカリーニョでJCDN「踊りに行くぜ!!」II vol.3のひとつとして上演。平成26年には京都芸術センター主催 dance4allにて、伊藤キム、アオキ裕キ、北村成美などによる全国公募作品とともに、北海道代表として平成22年の作品「あしあと」を再演。

「転校生」あらすじ

高校の教室。クラスの女子高校生たちの一日。課題図書に何を選ぶか、親戚の病気や近しい人の出産のことが話題になっている。そこへ「朝起きたらこの学校の生徒になっていた」という転校生がやってくる。課題図書のひとつ、カフカの『変身』の主人公のように。彼女を受け入れながら、身近でおきている恋愛や出産や死を通して、人間の存在の不確かさが浮かび上がってくる。

【原作者】

平田 オリザ / 劇作家・演出家

16歳で高校を休学し、自転車による世界一周旅行を敢行。昭和58年、国際基督教大学在学中に劇団「青年団」を結成、「静かな演劇」と呼ばれたムーブメントの中心的存在になる。このなかで、日本語会話に特有の論理をもとに「現代口語演劇」という理論を打ち立て、リアルな日本語で同時に複数の会話が進行する独自のスタイルを確立していった。

平成7年『東京ノート』で岸田國士戯曲賞を受賞。女子高校生とのワークショップから生まれた『転校生』はその前年に発表された。21人の女子高校生が登場するこの作品は「同時多発会話」という手法の最もラディカルな実験だったといえる。その他の代表作に『ソウル市民』、『S高原から』など。

平田オリザの作品は仏・英・韓・伊・独・中・タイ・マレー・インドネシア語に翻訳され、海外でも頻繁に上演されている。

公演稽古日程表(予定)

平成27年 12月	26日(土) 27日(日)	13~18時
平成28年 1月	9日(土)	13~18時
	10日(日)	
	16日(土)	
	17日(日)	
	30日(土) 31日(日)	
2月	3日(水)	18~21時
	7日(日)	13~18時
	10日(水)	18~21時
	14日(日)	13~18時
	17日(水)	18~21時
	21日(日)	13~18時
	24日(水)	18~21時
	28日(日)	13~18時
3月	5日(土) 6日(日)	13~18時
	8日(火)	18~21時
	9日(水)	リハーサル
	10日(木)	
	11日(金)	公演

稽古日時については平成27年6月現在の予定で、今後変更する場合があります。
稽古、上演の際は貴重品の管理を参加者自身で行ってください。